

2021 年 委員オリエンテーション（新谷副会長パート・骨子案）

（挨拶）

私からは、この大阪代協に「委員の皆さんに期待すること」についてお話ししたいと思います。

まずは、

① 「なぜ代協活動が必要なのか本質を理解して下さい」ということです。

皆さんの中には、は恐らく「支部長から頼まれて、断れずに」委員になった、という方が多いのではないのでしょうか？

代協のことは良くわからないし、支部会に出ても何を言っているのか意味不明だし、「なんで自分が委員なんだ？」、「まあ、2 年だけ、って頼まれたから名前だけ貸しとけばいいや」、正直そんな感じではないでしょうか。

そうだとすれば、代協として、本当に申し訳なかったと思っています。貴重な時間をわけのわからないまま代協に使っていただいとすれば、これほど無駄なことはありません。大阪代協を代表して私からお詫びを申し上げます。

私自身、最初は代協のことが何もわからず、皆さんと同じようにとても後ろ向きの代協会員でした。でも、先輩会員からいろいろと教えていただき、自分なりに代協の価値を見出し、代協の必要性を理解することができました。

皆さんにもっと早くこのことをきちんとお伝えできていなかったのは、大阪代協の執行部の責任です。

本日、改めて大阪代協が考える、代協活動の必要性について、山中会長からお話をいただきました。

私たち保険代理店が存続することは、社会のためであり、そのためには強い組織を作る必要がある、ということを是非忘れずにいて下さい。

二つ目は

② 「委員の皆さんは、支部の代表者」であることを理解しておいて下さい。

原田副会長のお話にあったように、委員会は、大阪代協がめざす G O A L にたどり着くため、具体的な取組みを実践する機関でした。

大阪代協には現在、10 の支部があります。正会員数が100 名を超える支部もあります。そして、委員の皆さんは、それぞれの100 人の支部会員を代表して、委員会に参加いただいているのです。

ご承知のように保険代理店を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、目まぐるしく変化しています。

保険代理店の将来のために、大阪代協が何をやっているのか、支部の会員の皆さんにどういった情報が大切なのか、何を協力して欲しいのか、しっかりと伝えて欲しいと思います。

委員の皆さんは、委員会と支部をつなぐ架け橋です。皆さんの支部の100店の会員さんが取り残されないよう、委員会の事業について、理解・納得して、その活動を支部に持ち帰り広げていただきたいと思います。

三つ目は、

③「自分の意見を持って、積極的に発信して下さい」ということです。

「代協は国連方式」という言葉を聞いたことはおありでしょうか。

国連では、アメリカのような大きな国も、大陸のどこかにある小さな国も、国連に参加している以上、議決権の1票の重さに変わりはありません。

代協も同じだ、という事です。

委員の皆さん一人ひとりの声を聞かせて下さい。

「ここがわかりません」「それには納得できません」「もっとこうした方が良いのではないか」という声が、委員会をどんどん活性化させ、参加して楽しい委員会になるのではないのでしょうか。

やりがいとかおもしろさは、実際にやってみないと生まれてきません。1時間半だまって話を聴いているだけというのはとても意味のないつまらない時間の過ごし方ですね。

毎年9月に「代協活動の現状と課題」が発刊されています。

是非一度だまされたと思って、自分の委員会に関係するところだけでも読んで見て下さい。

ここには委員会活動の原理原則のような事が書かれています。

これを読むと、「そうだったのか」という気づきや、「なるほどな」という納得があります。

その基本をもとに、是非自分の意見を持って代協活動に参加して欲しいと思います。

冒頭、山中会長がおっしゃいました。

「代協活動はボランティアではない。

私たちがいる保険業界のため、私たちが職業として選んだ保険代理店のため、個社の経営のための活動なのだ。」と。

本当にそうだと思います。委員の皆さんそれぞれが自分の意見を持って、積極的に発言し、皆の意見を合わせて行って、代協を創って行くのだと思います。

大阪代協の2021年度のスローガンは「つたえる・つながる」大阪代協です。

皆さん一人ひとりのご活躍を心から期待しています。